

花色が豊富。メガホンのような花形が特徴。

< 植物名 >

ザンテデスキア(カラー)
シラホシカイウ 'クリスタル・ブラッシュ'

水やり

湿地品種性は湿った肥沃な土壌を好み、1日1回程度水やりを行う。陸地性品種は、水はけの良い肥沃な土壌を好み土の表面が乾いたら水を与える。

置き場所

戸外の日当たりの良い場所が最適。真夏の直射日光は避け、半日陰に置く。

用土肥料

植え付けの際に、緩効性の肥料を多めに入れる。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

球根を掘り上げるか、鉢のまま乾燥させて冬越しさせる。

使い方 鉢植え、花壇

学名 Zantedeschia albomaculata 'Crystal Blush'

英名 blackthroated calla, spottedcalla

属名 オランダカイウ

科名 サトイモ

性状(分類) 球根植物

原産地 南アフリカ

花の色 白~ピンク(苞)

開花期 初夏

購入時期

草丈 60 cm

ID 173

季節 夏

JFコード 45861



冬越しと置き場所

置き場所としては、両者とも戸外の日当たりの良い場所が最適。ただし、真夏の直射日光は避け、半日陰に置く。花後は、地上部が枯れて休眠期に入る。球根を掘り上げるか、鉢のまま乾燥させて冬越しさせる。

その他の解説

カラーの名は、苞の様子がカトリックのシスターのカラー(襟)に似ているところからつけられた。'クリスタル・ブラッシュ'は、苞の色が白~ピンクへと変化する品種。植え付けの際に、緩効性の肥料を多めに入れる。

特徴1

湿地品種性は湿った肥沃な土壌を好み、1日1回程度水やりを行う。陸地性品種は、水はけの良い肥沃な土壌を好み土の表面が乾いたら水を与える。

特徴2

原種は南アフリカ中心に8種あるといわれ、いずれも肥大した地下茎を持ち、葉は矢じり形、先端部に仏炎苞(花びらに見えるもの)と肉穂花序(その中にある棒のようなものに小さな花がたくさんつく)からなっている。園芸品種は数多く作られており、仏炎苞の色も白、黄、クリーム、ピンク、オレンジ、サーモン、淡いグリーンなどさまざま。また、葉に白斑が入る品種などもある。